

昭和44年創刊

令和4年(2022年) 4月14日(木) 13862号



株式会社 日刊金属

本社 大阪市北区天満2丁目12番地3号
ヴィレッジリバー南森町3階E号

TEL: 06-6353-7831

FAX: 06-6353-7832

MAIL: metal_info_osaka@nikkankanzoku.co.jp

WEB: <https://home.nikkankanzoku.co.jp/>購読料 12か月 77,760円 外電配信料 12か月 92,400円
6か月 38,880円 6か月 46,200円

鉱工業出荷・総供給2月

国内向け3か月連続ダウン

輸出は3か月ぶり上昇

経済産業省

経済産業省はこのほど、2022年2月の鉱工業出荷内訳・総供給の概要を発表した。

出荷は、指数92.7(100=2015年、季節調整済)、前月比マイナス1.3%と2か月連続の低下。国内向け出荷は同マイナス1.5%と3か月連続で低下し、輸出向け出荷は同3.2%と3か月ぶりの上昇となった。

出荷全体では、国内におけるコロナ急拡大の影響で、石油・石炭製品工業、生産用機械工業などの低下が大きく、国内出荷では資本財、生産財などが低下に寄与し、輸出では生産財、建設財が上昇となった。

足下までの鉱工業出荷は、1月以降、それまでの上昇に対する反動に加え、コロナ変異株の急拡大やそれに伴う部材供給不足などの影響を受けて低下に転じている。

出荷水準をみると、2月の指数値は、国内が90.1、輸出が102.6。コロナ拡大直前の2020年1月の指数値は国内、輸出とも97.1で、輸出はコロナ拡大以前の状況まで回復が進んでいると考えられるが、国内は弱い動きが続いている。

国内出荷の業種別では、12業種中9業種で前月比低下。生産用機械工業が同マイナス12.0%と大きく低下し、なかでもその他の生産用機械、金属加工機械などが低下した。次いで低下寄与が大きかったのは化学工業(医薬品除く)で、なかでもプラスチック、洗剤・界面活性剤などが低下した。一方、1月には大幅に低下した輸送機械工業は前月の反動もあり同10.0%と大きく上昇している。

輸出の業種別では、12業種中8業種で前月比上昇。上昇寄与が大きかったのは汎用・業務用機械工業で、なかでも汎用機械器具部品、ポンプ・圧縮機器などが上昇した。次いで化学工業(医薬品除く)で、なかでもプラスチック、その他の有機化学工業製品などが上昇。国内向けで大幅に上昇した輸送機械工業は、輸出向けは同マイナス8.6%と低下し、低下寄与は最も大きくなった。全般的に輸出をみると、概ね回復傾向にあるとみられている。

輸出先では、欧米は低下したものの他地域は全て上昇した。1月は唯一上昇した中国は、化学工業(医薬品除く)などの大幅上昇により大きく上昇。

ASEANは2020年5月以降、上昇低下を繰り返しながら回復傾向にあったが、2月は3か月ぶりの上昇となっている。一方、米国、欧州はともに輸送機械工業の不振などによりマイナスとなり、引き続き低下となった。

輸入の動向をみると、2月は季節調整済指数で110.7、同1.8%と2か月連続の上昇となった。業種別では、13業種中3業種が前月比上昇、10業種が低下となり、鉱業、汎用・業務用機械工業などが上昇に寄与している。

国産は同マイナス1.6%と3か月連続の低下となり、鉱工業総供給は同マイナス0.7%と2か月ぶりの低下となった。

先行きについては、東南アジアでのコロナ拡大に伴い発生している部品供給不足が解消されつつあることや、内外経済の回復に伴い出荷も中期的には回復が続くことが予想されるため、輸出、国内とも向上することも期待される。

ただ、再びコロナ拡大の兆候も見られ、半導体不足などサプライチェーンの影響、ウクライナ情勢にも注意する必要があるとしている。

故銅・銅滓
アルミ原料

高価即金買入

——ご照会を乞う。

森下商店

大阪市西成区南津守 7-12-46

TEL (06)6659-5577~8

FAX (06)6659-5579

銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役
橋本 健一郎



3月のアルミ概況及び4月の見通し (3)

■国内概況まとめ

【自動車生産】

生産動態統計によると2月の自動車生産台数は前年比-1.6%の65万6,195台。輸出は前年同月比8.4%減の29万320台。

【自動車販売】

日本自動車販売協会連合会によると3月の自動車販売台数(軽除く)は前年比-14.8%の32万7,293台。

内訳は、乗用車が-13.6%、貨物が-21.7%、バスは-34.9%。

【住宅着工戸数】

2月の新設住宅着工は、持家は減少したが、貸家及び分譲住宅が増加したため、全体で前年同月比6.3%の増加となった。また、季節調整済年率換算値では前月比6.4%の増加となった。

○新設住宅着工戸数は64,614戸。前年同月比6.3%増、12か月連続の増加。

○新設住宅着工床面積は5,282千㎡。前年同月比4.7%増、11か月連続の増加。

○季節調整済年率換算値では872千戸。前月比6.4%増、4か月ぶりの増加。

【アルミ圧延・押出品生産数】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比+2.9%の14万8,872 tで4か月連続プラス。

板類は9万4,450 tで+5.1%の4か月連続プラス。

押出類は5万4,422 tで-0.7%の2か月連続マイナス。

【アルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績】

前年比は-11.7%の5万7,873 tで6か月連続マイナス。

出荷は-10.5%の5万8,212 tで6か月連続マイナス。

【輸出】

新地金は-33.8%の119 t、2次合金は-58.8%の1,268 t、スクラップは+24.8%の2万5,246 t、アルミ缶は-38%の5,971 t。

【輸入】

新地金は-9.8%10万1,062 t、二次合金-8.8%の8万3,540 t、スクラップ-4.7%の452 t、合金スクラップ+33.8%の6,397 t。

【見通し】

【自動車】

2月の自動車生産が-1.6%。1月国内販売台数が前年比-14.9%、5か月連続で生産、販売共に大幅減少。露ウクライナ情勢や半導体以外の中国からの部品供給の遅

れからとの事増加はしばらく見込めず、減少幅に注視。

【アルミ圧延・押出品生産数】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比+2.9%14万8,872 t 4か月連続プラス。コロナによる巣籠り需要で今後もプラスが続くかの動向に注視。

【アルミニウム2次合金、同合金地金等生産実績】

前年比は-11.7%の5万7,873 tで6か月連続マイナス。

出荷は-10.5%の5万8,212 tで6か月連続マイナス。

昨年から引き続き半導体など部材不足による自動車の減産に伴って国内のアルミ二次合金需要も減退している。生産のマイナスは6か月連続。

・アルミ輸出は、自動車生産の減少や円安を受けてスクラップが増加。

・アルミ輸入は、自動車生産減の中バックオーダー向けの生産から合金スクラップが増加。

【スクラップ景況予想】

流通(一次問屋)在庫は露ウ情勢の停戦期待=アルミの供給緩和観測を受けてLME価格が4,000-3,500ドルと下落したが自動車生産から売りにくく、さりとて入荷も少なそう。

需要面に関しては露ウ情勢や上海のロックダウンによるサプライチェーン問題から自動車向けスクラップはやや売りずらそう。上物に関しては巣籠り需要からの住宅、家電etcが堅調なことから引き続き引き締り気味。

【LME・為替予想】

今月は以下の項目に左右される。①ロシア・ウクライナ情勢、②コロナ感染拡大の動向。

①に関しては、露の思惑とは裏腹にウクライナ侵攻の終わりが見えないことから一部報道によれば戦費等々の問題も含めて露が5月中に一方向的に勝利宣言をする可能性が高いとのこと。その他、NATOと露の問題(エネルギー危機や経済制裁解除)なども含めて4月中には5月の停戦に向けた交渉が進展するのではないかと。(二転三転するだろう)

②に関しては、上海でコロナ感染拡大を受けて3月28日からロックダウンを続けてきたが治まるどころか感染者数が倍の8,226人になった事から5日までの期間を延長することに決まったことから、少なくとも4月中はロックダウンによる経済停滞は避けられないのではないかと。

これらを踏まえた3月のアルミ価格は3,300-3,900ドル(セツル)との予想。

ドル円値は118円~125円(TTM)台を予測。

スクラップ購入価格に関しては、+10~20円程度と予想している。

(「3月のアルミ概況及び4月の見通し」おわり)

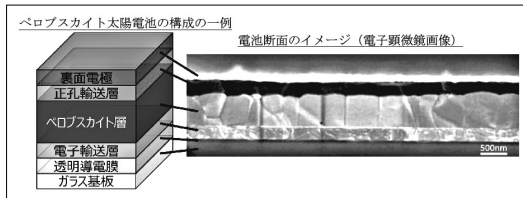
次世代型太陽電池開発に追加出資

三菱マテリアル

三菱マテリアル株式会社(小野直樹社長)はこのほど、MMCイノベーション投資事業有限責任組合を通じて出資している、次世代型太陽電池開発の株式会社エネコートテクノロジーズへ追加出資したと発表した。

同電池はペロブスカイト太陽電池と呼ばれ、ペロブスカイト結晶(ロシアの研究者が発見したチタン酸カルシウムと同構造結晶)の層などを基板に塗布して形成。現在一般使用されている結晶シリコン太陽電池より軽量で厚みを約100分の1にでき、折り曲げて多様な場所に設置することも可能なため、次世代型として普及が期待されている。京都大学発スタートアップ企業エネコートテクノロジーズ(加藤尚哉社長、京都市)が開発に取り組んでおり、同電池に含まれる鉛を代替材料に置き換えることによる鉛レス太陽電池の開発も進めている。

三菱マテリアルは2020年5月に出資、同電池の耐久性向上に貢献する技術や鉛レス化に必要な周辺材料などの開発に関する協業を進めている。追加出資を通じて同社との関係を強化し、同電池の主要構成材料の1つ電子輸送層(ペロブスカイト層で発生する電子を電極に流す役割を持つ層)向けの材料開発などを行い、電池の普及に向けて同社と協力する。



ペロブスカイト太陽電池を開発

光部品を新社に継承 古河電気と合併

三菱電線

三菱マテリアル株式会社(小野直樹社長)はこのほど、100%出資する三菱電線工業株式会社の光部品事業について、新設分割で設立する新社に承継させることなどを発表した。新社は三菱マテリアルの新たな連結子会社となり、三菱電線は新社株式の40%を古河電気工業株式会社に譲渡、合併で事業運営することに合意した。

三菱電線の光部品事業は、1970年代から、光ファイバを用いた光通信、レーザー伝送用、光計測用の光コード、レーザーデリバリーケーブル、バンドル製品に参入するため発足。現在は医療向け・産業用レーザーデリバリーケーブルや半導体向けバンドルに特化しているが、新社を設立し古河電気と合併運営することが成長に資すると判断した。三菱電線の持つ特殊ファイバ製造技術や部品加工技術と、古河電気の持つ光ファイバ製造技術や光製品関連会社とのシナジーを発揮し、光部品事業の成長を目指す。

新社の設立は2022年9月30日の予定。事業は光ファイバ(医療向け、レーザー加工用など)の製造、販売、研究開発など。本店は兵庫県尼崎市東向島西之町8(三菱電線尼崎事業所内)、従業員82名。株主は三菱電線60%、古河電気40%。

アルミニウム地金

アルミニウム原料

熟練ポット炉技術で歩留まりUP!

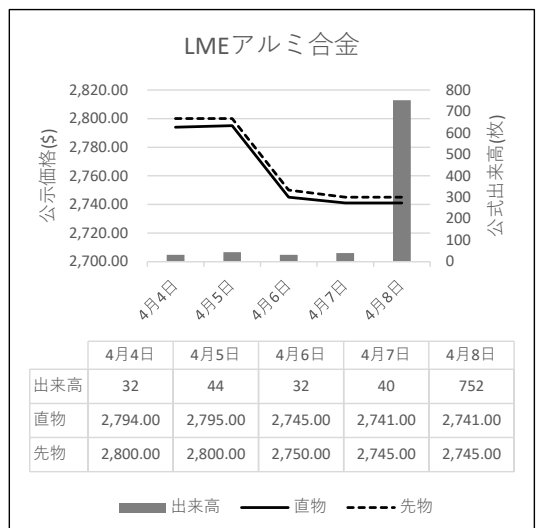
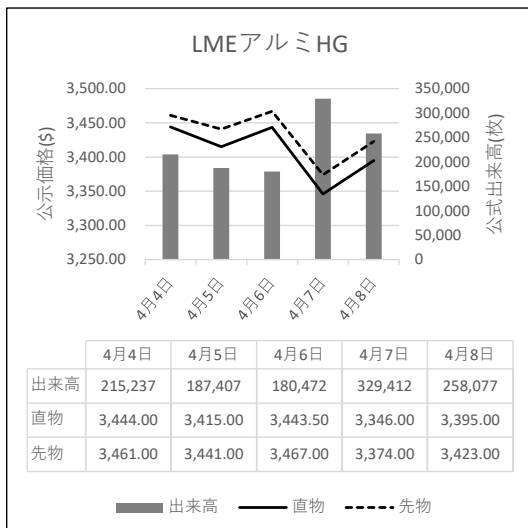
井関金属株式会社

代表取締役 井関親亮

〒587-0021 大阪府堺市美原区小平尾 407

☎ 072-361-3333 fax 072-362-7667

LME公式値週間推移 4月4日~4月8日(現地)



故銅市況

13日朝入電の海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）銅相場で、直物の前場売値が、前営業日の1万

0,235.50ドルより34.50ドル安の1万0,201.00ドル。直物の終値は、前営業日の1万0,181.75ドルより144.50ドル高の1万0,326.25ドル。3か月物の前場売値は、前営業日の1万0,254.00ドルより28.00ドル安の1万0,226.00ドル。3か月物の終値は、前営業日の1万0,200.50ドルより142.00ドル高の1万0,342.50ドル。COMEX（ニューヨーク商品取引所）銅相場の5月限は、前営業日の463.40セントより7.55セント高の470.95セント。SHFE(上海期貨交易所)銅相場の5月限は、前営業日の7万3,400元より170元安の7万3,230元。

13日の東京為替市場TTSレートは、前週末の126.56円より0.06円の円安ドル高、1ドル=126.62円。13日に入電した直近のLME銅相場直物前場売値は1万0,201.00ドル。この値と13日の東京外国為替市場USDドルTTSレートから計算した国内採算値は、前週末の133万3,000円より4,000円安の132万9,000円。この日、電気銅建値は132万円に据え置かれた。

為替動向

12日、ロンドン外国為替市場のユーロは対ドルで下落。16時、前日より0.0020ドルのユーロ安ドル高、1ユーロ=1.0870ドル~1.0880ドルで推移していた。FRBとECBの金融引き締めペースにやや齟齬が生じておりユーロ売りドル買いが優勢になった。ただ、米国では3月CPIの結

果を受け長期金利が低下、ユーロは下げ幅を縮小する場面もあった。英ポンドも対ドルで下落。同じく0.0010ドルのポンド安ドル高、1ポンド=1.3030ドル~1.3040ドル。

12日、ニューヨーク外国為替市場の円相場は横ばい。前日と同水準の1ドル=125.35円~125.45円で取引を終えた。朝方発表された3月のCPIは上昇率で前月比1.2%増と市場予想の1.1%をやや上回った。ただ、エネルギー・食品を除くコア指数は0.3%と市場予想の0.5%を下回り、2月の0.5%から減速。CPIが大きく上振れすればFRBの利上げペースが更に加速すると観られていたが、過度なインフレ懸念はやや後退、円買いドル売りが優勢になった。その後、FRBのブレイナード理事がウォール・ストリート・ジャーナルのインタビューで「インフレ率を下げるのが最も重要な仕事」との認識を示し、FRBが金融引き締めの道筋を変えることはないとの受け止めが市場に広がり円売りドル買いも入った。

13日午前の東京外国為替市場で円相場は小幅上昇で始まった朝方から下げに転じた。10時、前日17時と比べ0.09円の円安ドル高、1ドル=125.61円~125.62円だった。12日の米国の長期金利低下で朝方は円買いドル売りが先行したが続かなかった。円は対ユーロでも安値圏。同じく0.60円の円安ユーロ高、1ユーロ=135.84円~135.86円だった。

アルミ二次合金メーカー買値実勢値

(1トン程度・置場・現金・キロ当たり円)

関東地区 (4月前半)

2S=295円~315円、63S=279円~310円、アルミホイール(1P)=191円~305円、ビス付サッシ=162円~171円、エンジンコロ=170円~178円、込合金(機械铸件)=168円~176円、缶プレス(ソフト)=141円~151円。

関西地区 (4月前半)

2S=287円~290円、63S=290円~293円、印刷版=280円~283円、アルミホイール(1P)=261円~271円、ベースメタル=214円~218円、機械铸件=161円~164円、ダライ粉=140円~143円、ビス付サッシ=158円~163円、缶プレス=148円~153円。

故銅直納問屋筋の平均値頃感 (単位は千円)

(4月12日更新)

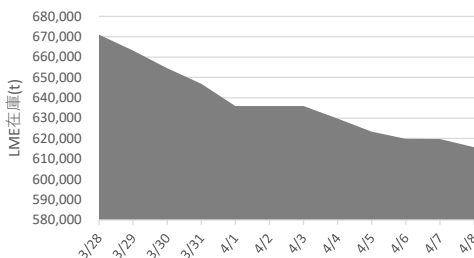
直納問屋筋によるロット物 (5トン前後) の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が1022~1027、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは987~992、並銅は952~962、込銅(高品位=約97%)は942、セパは816~821。コーベルは要り用筋で757、それ以外は742ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋767、それ以外737~747どころの値頃。並青銅铸件削粉は833~838どころ。

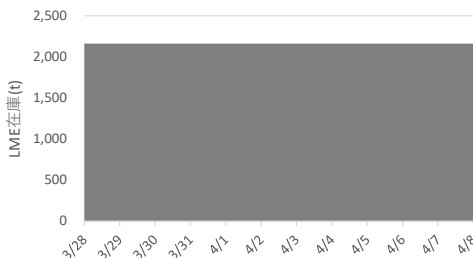
小口市相中相場(1トン前後)では、ピカ線が1002~1022、上銅新くずが967~987、普通上銅が942~962、2号銅線が934~954、並銅が932~952、込銅(94-97%)が880、込銅(90-93%)が882、下銅が554~604、セパが781~816、コーベルが697~742、黄銅棒地が692~737、黄銅削粉が687~732、黄銅ラジが652~660、交叉ラジが549~606、黄銅銅铸件が535~542、送りが352~371、上青銅铸件が830~850、並青銅铸件が810~825、上青銅铸件削粉が825~845、並青銅铸件削粉が800~820どころ。

LME認定倉庫在庫量推移 3月28日~4月8日(現地)

アルミ



アルミ合金





LME銅相場は続落 直物の終値は1万0,326.25ドル
 COMEX銅相場は反発 SHFE銅相場はまちまち
 LME非鉄相場はまちまち ニッケルは2営業日で約5%安
 亜鉛は小幅に反落も依然高値圏 LME在庫は年初より約4割減



13日朝入電した海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が、4月12日入電の1万0,235.50ドルより34.50ドル安の1万0,201.00ドル。2営業日の続落で1.82%安。この週1.82%の下落。4月に入って1.32%の下落。3か月物の前場売値は、4月12日入電の1万0,254.00ドルより28.00ドル安の1万0,226.00ドル。2営業日の続落で1.48%安。この週1.48%の下落。4月に入って1.05%の下落。

LME公認倉庫の銅在庫は、現地4月11日の10万5,600トンより1,250トン減の10万4,350トン。

COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場は、4月限が、4月12日入電の462.85セントより7.55セント高の470.40セント。反発して1.63%高。この週0.34%の下落。4月に入って0.82%の下落。中心限月に当たる5月限は、4月12日入電の463.40セントより7.55セント高の470.95セント。反発して1.63%高。この週0.33%の下落。4月に入って0.87%の下落。

SHFE（上海期貨交易所）銅相場は、4月限が、4月12日入電の7万3,610元より横ばい元の7万3,610元。この週0.10%の下落。4月に入って0.04%の上伸。中心限月に当たる5月限は、4月12日入電の7万3,400元より170元安の7万3,230元。4営業日の続落で0.65%安。この週0.39%の下落。4月に入って0.42%の下落。

錫は反発

LME錫相場の前場売値は、直物が、4月12日入電の4万3,325.00ドルより325.00ドル高の4万3,650.00ドル。6営業日ぶりの反発で0.75%高。この週1.46%の下落。4月に入って1.24%の下落。3か月物の前場売値は、4月12日入電の4万3,050.00ドルより545.00ドル高の4万3,595.00ドル。反発して1.27%高。この週0.52%の下落。4月に入って1.62%の上伸。

LME公認倉庫の錫在庫は現地4月11日の2,760トンより5トン増の2,765トン。

鉛はまちまち

LME鉛相場の前場売値は、直物が、4月12日入電の2,409.00ドルより9.00ドル高の2,418.00ドル。反発して0.37%高。この週0.29%の下落。4月に入って0.62%の下落。3か月物の前場売値は、4月12日入電の2,411.00ドルより10.00ドル安の2,401.00ドル。2営業日の続落で0.87%安。この週0.87%の下落。4月に入って1.07%の下落。

LME公認倉庫の鉛在庫は現地4月11日の3万9,325トンよりトン減の3万9,325トン。

亜鉛は反落

LME亜鉛相場の前場売値は、直物が、4月12日入電の4,372.00ドルより27.00ドル安の4,345.00ドル。3営業日ぶりの反落で0.62%安。この週1.52%の上伸。4月に入って2.00%の上伸。3か月物の前場売値は、4月12日入電の4,305.00ドルより7.00ドル安の4,298.00ドル。3営業日ぶりの反落で0.16%安。この週1.13%の上伸。4月に入って3.52%の上伸。

LME公認倉庫の亜鉛在庫は現地4月11日の12万3,675トンより2,850トン減の12万0,825トン。

アルミは続落 アルミ合金は反発 北米特殊は上伸

LMEアルミ相場の前場売値は、直物が、4月12日入電の3,234.50ドルより20.00ドル安の3,214.50ドル。2営業日の続落で5.32%安。この週5.32%の下落。4月に入って8.24%の下落。3か月物の前場売値は、4月12日入電の3,251.00ドルより6.00ドル安の3,245.00ドル。2営業日の続落で5.20%安。この週5.20%の下落。4月に入って7.76%の下落。

LME公認倉庫のアルミ在庫は現地4月11日の60万9,850トンより万925トン増の61万0,775トン。

LMEアルミ合金相場の前場売値は、直物が、4月12日入電の2,350.00ドルより322.00ドル高の2,672.00ドル。反発して13.70%高。この週2.52%の下落。4月に入って4.67%の下落。3か月物の前場売値は、4月12日入電の2,353.00ドルより322.00ドル高の2,675.00ドル。反発して13.68%高。この週2.55%の下落。4月に入って5.31%の下落。

LME北米特殊アルミ合金（NASAAC）相場の前場売値は、4月12日入電の2,948.00ドルより12.00ドル高の2,960.00ドル。2営業日の続伸で0.44%高。この週0.44%の上伸。4月に入って3.46%の下落。3か月物の前場売値は、4月12日入電の2,940.00ドルより4.00ドル高の2,944.00ドル。上伸して0.14%高。この週0.14%の上伸。4月に入って4.57%の下落。

ニッケルは続落

LMEニッケル相場の前場売値は、直物が、4月12日入電の3万2,925.00ドルより475.00ドル安の3万2,450.00ドル。2営業日の続落で4.84%安。この週4.84%の下落。4月に入って2.84%の下落。3か月物の前場売値は、4月12日入電の3万2,850.00ドルより400.00ドル安の3万2,450.00ドル。2営業日の続落で4.56%安。この週4.56%の下落。4月に入って2.70%の下落。

LME公認倉庫のニッケル在庫は現地4月11日の7万3,452トンより222トン減の7万3,230トン。

LME公示価格(US\$)／4月12日

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公示価格	10,201.00	43,650.00	2,418.00	4,345.00	3,214.50	2,672.00	2,960.00	32,450.00
	前営業日比	▲ 34.50	325.00	9.00	▲ 27.00	▲ 20.00	322.00	12.00	▲ 475.00
先物	公示価格	10,226.00	43,595.00	2,401.00	4,298.00	3,245.00	2,675.00	2,944.00	32,450.00
	前営業日比	▲ 28.00	545.00	▲ 10.00	▲ 7.00	▲ 6.00	322.00	4.00	▲ 400.00

海外非鉄金属相場

(4月13日 入電・現地 4月12日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 銅AG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前日比, 後場. Rows: 錫HG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前日比, 後場. Rows: 鉛, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前日比, 後場. Rows: 亜鉛SHG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前日比, 後場. Rows: アルミHG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前日比, 後場. Rows: アルミ合金, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前日比, 後場. Rows: 北米特殊アルミ合金, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前日比, 後場. Rows: ニッケル, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

NYコメックス相場
出来高: 1ロットは12.5ショート・トン、銅はポンド当たりセント
金・プラチナ・パラジウムはオンス当たりドル、銀はオンス当たりセント

Table with columns: 銅HG, 金, 銀, プラチナ, パラジウム. Rows: 4月限, 5月限, 6月限, 7月限, 8月限, 前日比, 出来高.

採算価格
フレート諸チャージ込み入荷ベース(上海は前日の元・円レートで換算)

Table with columns: LME (円ベース/キロ), COMEX, 上海. Rows: 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル.

フリー・マーケット

■米国生産者価格(地金)

Table with columns: 銀(セント/オンス) EH社, 銀(セント/オンス) HH社. Values: 2550.0 (10.0), 2554.5 (57.0).

■NY相場

Table with columns: 取引業者銅(セント/ポンド), 2号銅線くず(セント/ポンド). Values: 256.35 - 257.35, 353.35 - 357.35.

■ロンドン相場(ドル)

Table with columns: 金(オンス), アンチモン99.65%(トン), ビスマス99.9%(ポンド), カドミウム99.99%(ポンド), インジウム99.99%(キロ), セレニウム99.5%(ポンド), スポンジチタン99.5%(キロ), フェロモリブデン欧州産65%(キロ), コバルトカソード99.8%(ポンド), マグネシウム中国産99.9%(トン), タングステンAPT(純分10キロ), タンタル鉱石30-35%(ポンド). Values: 1960.85 (9.30), 14900 - 15350, 3.70 - 4.05, 1.39 - 1.51, 270 - 300, 9.50 - 11.00, 9.45 - 13.00, 46.00 - 47.00, 37.50 - 39.00, 7300 - 7900, 320.0 - 350.0, 91 - 93.

■KLT M錫(MYR/KG、出来高トン)

Table with columns: (12日), (13日). Rows: 相場, 出来高, ドル建て価格, ODレート, M\$/US\$レート, 採算円/キロ, US\$採算円/キロ. Values: -, -, -, 3.7600, 4.2346, -, -.

■LME在庫(トン)

Table with columns: 在庫, 増減. Rows: 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル. Values: 104,350, 2,765, 39,325, 120,825, 610,775, 2,160, 6,560, 73,230. Changes: 1,250, 5, -, 2,850, 925, -, 20, 222.

■上海在庫(トン)

Table with columns: 在庫, 増減. Rows: 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛, ニッケル. Values: 96,581, 307,420, 176,513, 90,531, 8,710. Changes: 3,460, 1,615, 336, 1,575, 153.

■LMEプレマーケット(ドル)

Table with columns: 先物気配. Rows: (4/13), (3:00AM現地). Values: 銅 10,358.5 - 10,362.5, アルミ 42,840.0 - 43,480.0, 鉛 2,395.5 - 2,399.0, 亜鉛 4,420.0 - 4,423.0, アルミ 3,275.5 - 3,280.0, ニッケル -.

■上海相場

Table with columns: トン当たり元、1ロット=5トン・増値税込. Rows: 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛, ニッケル. Values: 4月限 73610, 20915, 27640, 15365, 211940; 5月限 73230, 20870, 27515, 15395, 209580; 前日比 0, 455, 310, 50, 90; 出来高 18955, 16525, 4140, 935, 354.

※13日のKLT Mは取引なし。

Table with columns: 為替相場, LME (円ベース/キロ), COMEX, 上海. Rows: ドル・円, TTS, 126.62, +0.06. Values: 銅 10201, 43650, 2418, 4345, 3215, 32450, 470, 73610, 20915, 27640, 15365; 1331, 5727, 343, 590, 427, 4309, 1358, 1471, 418, 553, 307; 4, 44, 2, 3, 2, 58, 21, 9, 6, 10, 0.

非鉄金属製品相場

(4月13日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京	電線 (現場納め 定尺 関西地区 大口~小口)
銅小板2.0ミリ	1590	1515	亜鉛板0.3×3×7	620	620	V V F
建築用0.3ミリ	1640	1565	印刷用亜鉛板トッパン用	790	790	2C×1.6 52~54
銅大板2×1×2	1720	1715	給水管13ミリ	300	300	2C×2.0 93~96
銅管(ベース)	1620	1695	鉛板1.5ミリ	591	591	3C×1.6 96~99
水道用管(m当たり)13ミリ	1530	1575	鉛線3ミリ	470	470	3C×2.0 143~146
銅棒25ミリ	1500	1485	軽圧品	大阪	東京	I V
銅条1.5×100	1555	1530	アルミ箔0.007ミリ	1105	1065	1.6mm 29.8~31.7
銅線0.9ミリ	1580	1545	〃 小板1ミリ	740	695	5.5sq 81.3~86.4
銅帯6×50	1510	1485	〃 大板1ミリ	720	685	14sq 203~216
銅平角線	1780	1715	〃 5052板	775	735	CV-T
黄銅小板2.0ミリ	1320	1270	〃 6061板	1325	1285	600V 3C×38 1543~1640
〃 0.3ミリ	1350	1300	〃 2017板	1230	1295	600V 3C×60 2372~2522
黄銅大板2×1×2	1470	1440	〃 線3ミリ	725	685	600V 3C×100 3986~4237
黄銅管	1740	1700	〃 快削棒50ミリ	940	900	6kV 3C×38 2522~2676
復水器用黄銅管	1710	1670	〃 合金棒50ミリ(17S)	925	880	6kV 3C×60 3507~3721
黄銅棒快削25ミリ	1105	1100	〃 合金棒50ミリ(56S)	880	840	CVV (関西-関東)
六角棒	1135	1130	貴金属(一般小口向け)			3C×2 123-126
四角棒	1165	1160	白金(グラム)		◆ 4407	4C×2 164-168
鍛造用	1145	1140	パラジウム(グラム)		◆ 10835	6C×2 234-239
ネーバル	1245	1240	金(グラム)		◎ 8773	7C×2 267-274
高力	1245	1240	銀(キログラム)		◎ 115500	合金鉄 2月輸入単価 (CIF)
黄銅線6ミリ	1495	1450	レアメタル輸入価格	2月通関 (CIF)		フェロマンガン2%以上炭素含有 189
黄銅平角線ロール仕上	1695	1660	金属ケイ素(99.99%未満)	537		〃 その他 336.2
黄銅条1.5×100	1315	1285	モリブデン酸化物	3417		フェロシリコン55%以上 268
リン青銅板一般用1.0ミリ	2830	3120	タンタル	44400		フェロクロム4%以上炭素含有 217.3
〃 バネ用0.3ミリ	3110	3420	マグネシウム	-		フェロモリブデン純分60%以上 3448
リン青銅棒25ミリ	2910	3190	コバルト	8283		フェロバナジウム 3039
リン青銅線3ミリ	3310	3630	インジウム	27498		フェロニッケル33%未満 531.2
洋白板一般用1.0ミリ	3600	4100				電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ 326
〃 バネ用1.0ミリ	3750	4230				

減摩合金	4月1日改定	銅合金地金	4月1日発表
(500kg以上、大口価格)		(標準価格)	大阪
1種	6025	BC 1種	1305
2種	5825	2種	1690
3種	5625	3種	1795
4種	4920	6種	1435
5種	4740	7種	1560
7種	1500	YBSC 3種	1165
8種	1260	LBC 3種	1735
9種	1080	PBC 2種	1830



非鉄金属材料相場

キロ当たり円	◎上げ ◆下げ		(4月13日調べ)		インジウム大口~小口(99.99%)		37,000 ~ 40,000(1)	
	大阪 仲間相場	東京 仲間相場	地 金		大阪 仲間相場	東京 仲間相場		
山元建値			電気銅	1320(12)	金	7,958(13)		
() 実施日			電気鉛	360(11)	銀	103,980(13)		
			電気亜鉛	598(11)	錫(99.99%)	7,000(7)		
1トン以上外税持込				高値	安値	高値	安値	
1 号 銅 線	1168	1163	電 気 銅	◎ 1314	◎ 1309	◎ 1316	◎ 1311	
2 号 銅 線	1116	—	電 気 亜 鉛	570	564	570	564	
上 銅 (新 切)	1139	1128	蒸 留 亜 鉛	558	552	558	552	
雑 ナ ゲ ッ ト	989	994	再生ダイカスト亜鉛2種	476	470	476	470	
並 銅	1071	1061	再 生 亜 鉛 (98%)	417	411	417	411	
下 銅	1052	1034	電 気 鉛	337	334	336	333	
銅 削 粉	1051	1037	再 生 鉛 1 号	328	318	324	319	
銅 さ い (30%)	25	25	再 生 鉛 3 号	333	329	329	325	
新 切 黄 銅 セ バ	917	923	錫 1 号	◆ 5700	◆ 5650	◆ 5700	◆ 5650	
コ ー ペ ル	884	881	ア ン チ モ ン	2000	1950	2000	1950	
黄 銅 棒 地	868	869	ニ ッ ケ ル (メ ッ キ 用)	4300	4250	4300	4250	
黄 銅 削 粉	862	865	コ バ ル ト	11700	11400	11700	11400	
並 黄 銅	730	695	セ レ ニ ウ ム	3600	3400	3600	3400	
黄 銅 ラ ジ エ タ ー	730	705	ビ ス マ ス	1300	1200	1300	1200	
交 叉 ラ ジ エ タ ー	676	649	カ ド ミ ウ ム	550	500	550	500	
黄 銅 鑄 物	735	—	マ グ ネ シ ウ ム 合 金	800	780	800	780	
山 送 り (55%)	435	—	アルミ地金 99.70 %	◎ 450	◎ 446	◎ 452	◎ 448	
上 青 銅 鑄 物	912	—	アルミ二次地金 99 %	385	380	385	380	
並 青 銅 鑄 物	910	901	〃 90 %	316	311	316	311	
上 青 銅 鑄 物 削 粉	905	—	アルミ二次合金ADC12	444	439	447	442	
並 青 銅 鑄 物 削 粉	895	889	鑄 物 用 C2BS	469	464	471	466	
新 切 リ ン 青 銅 (伸 銅)	—	1168	青 銅 合 金 地 金 3 種	1750	1740	1730	1720	
〃 (鑄 物)	1029	—	〃 6種	1390	1380	1370	1360	
リ ン 青 銅 削 粉	942	934	ハ ン ダ 錫 60 %	4030	3990	4050	4020	
新 切 洋 白 (電 子 材)	958	945	〃 50 %	3460	3410	3480	3450	
新 切 亜 鉛	223	223	〃 40 %	2945	2885	2900	2870	
ダ イ カ ス ト く ず	188	188	減 摩 合 金 2 種	5790	5760	5795	5765	
亜 鉛 ド ロ ス	166	177	〃 4 種	4885	4860	4890	4860	
上 鉛	129	127	〃 7 種	1480	1430	1480	1430	
電 池 素 鉛 ケ ー ス 込	25	25	ス テ ン レ ス ・ 特 金	18-8ステンレス 新切		155	155	
活 字 鉛	114	111		〃 ダライ粉		140	140	
新 切 ア ル ミ 1 級	332	314		高耐食ステンレスSUS316		260	260	
新 切 サ ッ シ 1 級	332	312		耐熱ステンレスSUS310		350	350	
新 切 合 金 1 級	317	292		13クローム 新切		36	39	
機 械 鑄 物 1 級	220	210		ハイス 9種		215	215	
ピ ス 付 サ ッ シ P	243	225						
合 金 削 粉 P	165	155						
込 ガ ラ P	160	147						
カ ン ・ バ ラ	225	211						

非鉄金属材料相場面

PW:KINZOKU2204